

努力の継続

誇れる美郷をめざして



美郷町長

松田知己

謹んで新年の挨拶を申し上げます。皆さんには記録的な豪雪や東日本大震災の発災、そしてTTP問題に集約される国内政治の揺曳など激動だった一年を静かに振り返り、改めて今後のいろいろな事柄に思いを馳せるとともに、だからこそ今年は転機となる一年になってもらいたい願いを持って新年をお迎えのことと存じます。私も皆さんと同様、昨年の諸々の出来事を振り返り、改めて私どもに課せられている役割を思慮するとともに、その役割を果たしながら、めざす美郷の姿に着実に近づいていく決意を新たにしていると存じます。

さて、こうした激動の一年も乗り越えて、美郷町は立町8年目を迎えました。この間、町の一体感や公共施設の再編など合併に伴う諸課題の解決、あらゆる分野できちんと対応できる役場体制の構築、合併町として自他ともに認める個性の確立、そしてめざす姿に近

づく町づくりの推進などを意識の核心において取り組みを重ねてまいりました。おかげさまで、これまでの積み重ねは順調に推移してきていると私は認識しております。これもひとえに、「いい町にしたい」という共通の想いを源泉に温かいご理解とご協力をいただいたおかげであり、改めて皆さんに心から感謝を申し上げます。

一方、国内政治および世界経済に不安定さが懸念される今年については、これまで以上に情報感受性や企画立案力、そして施策実践力の発揮が求められる環境が押し寄せてくるように思います。美郷町はそうした環境にも確かつ臨機応変に対応し、引き続き順調な歩みを重ねていかなければなりません。そのためには、やはりきちんとした基盤が何より必要であり、その整備に向けた取り組みが一層求められるように思うところです。

そのため、平成24年においても公共施設再

編計画に基づく施設再編を着実に推進するほか、他機関との人事交流を含めた職員の資質向上と業務推進の体制強化、大学や他自治体との連携による「水」を活かした地域振興と交流基盤の充実、学校再編計画に基づく美郷中学校の開校と小学校統合の準備、東日本大震災を踏まえた防災体制の充実など、いわゆる基礎づくりを着実に進め、各般にわたる対応力向上に努めてまいりたいと思っております。

皆さんには、こうした考え方と取り組みにご理解をお願いするとともに、引き続き温かいご協力をいただけますようお願い申し上げます。「努力は必ず報われる」。この言葉に宿る言霊も信じながら、ともに誇れる美郷の構築に今年もがんばってまいります。





新しい生き方



美郷町議会議長

高橋 猛

新年明けましておめでとうございます。心も新たに新年をお迎えのことと存じます。

町は合併をして早いもので8年目になりましたが、町民の皆様のご理解をいただきながら、いろいろな面で概ね順調に、あるいは計画以上に推移していると思っております。しかしながら常に課題もあるわけで、今後とも議論を重ねながら、よりよいまちづくりに向けて活動していかなければと思っております。一方、議会においては、議会で行っております「住民と議会との懇談会」に出席される方が回を重ねる毎に多くなってきており、感謝申し上げますとともに、懇談の持ち方やその対応も含めて、より充実した会合にしたいと思っております。また、議会も常に社会情勢の変化に対応すべく、見直し、改善、改革を図っていかなければならないわけですが、そのようなことから、議会の在り方、活性化に向けた検討会を立ち上げ、議論することになりました。より機動的な議会にし

てまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

ところで、昨年は東日本大震災という史実に残る未曾有の災害を経験した年でしたが、これまで当たり前と思っていたことが当たり前でない生活になって、気付かされたことがたくさんありました。電気であったり、ガソリンや灯油であったり、食糧であったり。物資だけではなく、被災地の人々からしてみると、失った家族や地域もそうであります。

そんな中で、これまでの自分の生き方、人間性を求めて生きていくのかを考えさせられる出会いがありました。それは、12月3日に美郷町公民館で上映された「降りていく生き方」という映画でした（映画館での定期上映、DVD化、テレビ放送は行わない）。今回、このような企画をしていただきました皆様に衷心より感謝申し上げます。上映前、主演の武田鉄矢さんは、この作品を作ったいきさつの中で「私たち

はこれまで常に、昇っていく生き方をしてきたのではないかと」言われていました。ひたすら便利で豊かな生活を追い求め続け、確かに文化的な生活、便利な世の中にはなりましたが、半面、実は大切なものを忘れてきたのではないのでしょうか。「降りていく」というと、人生下っていくというイメージを持たれるかもしれませんが、決してそうではなくて、これまでの人生を振り返り、自分はこの生き方でいいのだろうか、ふと立ち止まって考えてみる、そこにまた「新しい生き方」が見えてくるかもしれない。

今、国ではTPPで世論が大きく分かれていきます。国は「坂の上の雲」のごとく昇っていく生き方をするのかもしれませんが、「新しい生き方」も示してほしいと思います。

本年が皆様にとりまして平穏な一年でありますよう祈念し、所感いたします。

